



「本当に真珠ができるかな？」 協力

概要： 真珠の核入れを実際に体験することにより、真珠のできる過程を知り、また三浦の海にたくさんの生物がいることを知る。



実施内容

1. **実施校** 名向小学校
2. **目的** 真珠の核入れ作業や、稚貝の選別を行うことによって、真珠のでき方や、三浦の海にはたくさんの生物がいることを実感する。
3. **内容** 真珠の核入れの説明を聞き、実際に核入れの作業を行う。また空き時間に稚貝を選別する作業や、核をつかむ練習を行う。
4. **日時** 平成28年 7月7日(木) 13:30~15:20
5. **場所** 名向小学校 理科室
6. **参加者** 名向小学校 5年児童生徒 44名
7. **指導者** 油壺マリンパーク館長とスタッフ1名、小網代パール海育隊メンバー7名
8. **協力者** 教頭先生、教員2名
9. **持ち物** エプロン、手袋
10. **参観者** 教育委員会指導主事1名、研究所職員3名 報道関係者2名

当日の様子

- 4名の講師（マリンパーク2名、小パール隊の2名）が作業台に座り、1つ目の貝は講師が手を取り作業、2つ目の貝は自分で核入れの作業を行った
- 「核入れは難しくて落としてしまったけれどまっすぐ入れたら上手くいった」と嬉しそうだった。
- 空き時間には稚貝の選別をしながら色々な海の生物を発見し、三浦の海は生物の種類が多いとの説明を受けていた。
- 貝の選別では最初、戸惑っていたが、そのうち手袋を外して素手で色々な生物を触っていた。